



おおぞら

ぎがい

大空町議会だより 第19号
2011(平成23)年2月28日発行

2

2011



●12月24日、女満別小学校新校舎の完成に伴い、長い間お世話になった校舎との『お別れ集会』が行われました。

定例会の議案と質疑 P2～5
町政を問う(一般質問4名) P6～11
委員会活動レポート P12
臨時会の議案と質疑 P13

その他議会活動 P14
要望意見書 P15
編集後記 P15
議会日誌 P16

●12月定例会の議案と質疑●

●平成22年第4回定例会は、12月20日から21日の会期で開かれ、次の案件が決まりました。

※内容は、概要掲載です。詳細は、議会HPや図書館備付けの会議録を御覧ください。



「定住自立圏形成協定」の締結を議会の決定事項に
生活に必要な機能を充実させて都市部などへの人口流出を防ぎ、地域への人口定住のために市町村が役割分担し、お互いに協力することを主な目的とした『定住自立圏形成協定』の締結・変更・廃止について、『大空町議会の議決に付すべき事件に関する条例』を制定し、議会での決定事項にすることになりました。

定住自立圏構想に関するQ&A

※総務省HP等より

Q1 定住自立圏とは？

A1 地方圏で、一定の要件を満たす「中心市」とその「周辺市町村」が、それぞれの意思で1対1の協定を結び、人口定住の受け皿として形成される圏域をいいます。

人口が減少していく中で、安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から都市圏への人口流出や、都市圏住民にも居住の選択肢を提供して地方圏への人の流れをつくるなど、全国的な取組として推進していくため、国は「定住自立圏構想推進要綱」を策定しました。

Q2 定住自立圏形成協定とは？

A2 定住自立圏形成に向けて、中心的役割を果たす意思を公表する「中心市宣言」をした中心市と、その宣言に賛同する周辺市町村との間で、人口定住のために必要な生活機能の充実・確保のために役割分担し、連携・協力していくことなどを確認するために結ぶ協定です。

Q3 中心市の要件は？

A3 三大都市圏(※1)の区域外で、人口が少なくとも4万人を超え、昼夜間人口比率(※2)が1以上であることが、主な要件となります。

全国で243の市が該当し、本町が属するオホーツク管内では、網走市だけが該当します。網走市は、平成22年9月2日に、中心市宣言を行いました。

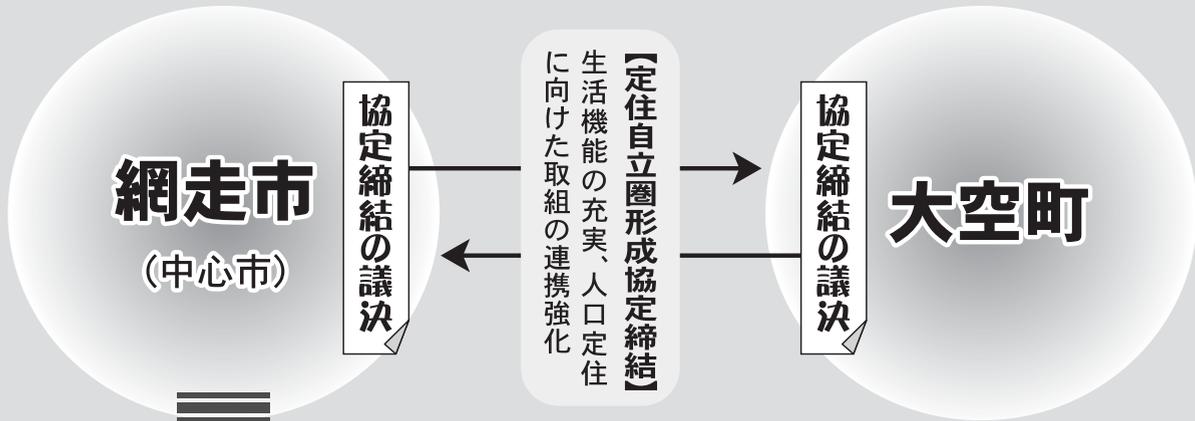
※1 三大都市圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県の全区域のことをいいます。

※2 昼夜間人口比率：昼間人口を夜間人口で割り返した数値をいいます。

市町村の設定を「大空町」とすると…
夜間人口～大空町を居住地(寝泊まりする場所)としている人口
昼間人口～[大空町の夜間人口]+[町外から大空町に通勤・通学している人]
- [大空町から町外に通勤・通学している人]

生活機能の充実と人口定住に向けて
中心市宣言をした網走市との「定住自立圏形成協定」締結への第一歩

定住自立圏形成協定について、大空町は中心市宣言を行った網走市と、平成23年3月中の協定締結に向けて、関連事務を進めています。



中心市が【定住自立圏共生ビジョン】を策定

協定締結後、網走市(中心市)において、地域関係者などが構成員となって開催する協議・懇談の場(=圏域共生ビジョン懇談会)で検討し、策定するものです。定住自立圏の将来像や、その実現に向けた具体的な取組などが記載されます。策定や変更にあたっては、大空町(周辺市町村)と協議をすることとされています。

「集約とネットワーク」の考え方を基本に

- ①医療・福祉・教育・産業振興などの生活機能の強化
- ②地域公共交通・住民交流・移住促進などの結びつきやネットワークの強化
- ③人材育成・職員交流など圏域マネジメント機能の強化

などの視点から、連携する具体的な事項と両市町の役割分担を明確にします。

定住自立圏形成協定における取組に対して、中心市は4,000万円程度、周辺市町村は1,000万円程度を基本とし、人口や面積を考慮して算定された金額の特別交付税など、財政的な措置がなされます。



質疑と答弁

品田議員 定住自立圏形成協定と総合計画とは、どのような位置関係にあるのか。

総務課参事 総合計画に

登録されているものを基本として協定を結び形になっており、総合計画のほうが上だと考えている。



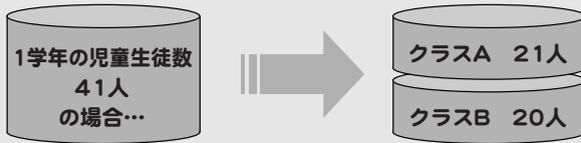
平成21年度決算を認定！

「平成21年度各会計歳入歳出決算認定」について、決算審査特別委員会を設置して付託し、審査いたしました。10月22日に開催された委員会において慎重審議の結果、原案どおり認定すべきと決定した旨の委員長報告があり、本定例会で認定されました。

【将来を担う子供たちのために】

少人数学級制を導入することで、将来を担う子供たちの育成に寄与する教育行政実現のため、一般職員として町が教職員を任期付で採用することが規定された『大空町一般職の任期付学校教育職員の採用に関する条例』が制定されました。

現在の制度では、1学年の児童生徒数が41人以上だと、クラスが分かれます。



現行の学級編成基準



極端な例ですが、1学年の児童生徒数が1人違うだけで、クラスの人数が倍近くになります。大空町では、女満別小学校の1年生、3年生、5年生で、1学年の児童数が35人以上40人未満と、1クラス編成で多人数学級の状況になっています。

今回の条例制定の根拠となる

〔地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律〕

この法律で、各市町村などが高い専門知識や経験、能力などを保持者に仕事をしてもらう必要がある場合、条例で規定することで、選考の方法により5年を超えない範囲で一般職（＝事務を行う役場の職員）を採用することができる旨の記載がされています。

国では、平成23年度から小学校1年生について35人以下学級を実現するとしており、今後数年でさらに少人数学級を推進することを目指しています。

この法律の規定により条例を定め、町が独自に一般職として教員を採用して国の基準以上の少人数学級化に対応し、学習・生活面などきめ細かな指導をとおして将来を担う子供たちの育成に取り組んでいくものです。



【北一児童遊園地を廃止へ】昭和43年度から地域児童遊園地として利用してきた『北一児童遊園地』の遊具老朽化が進み、利用児童も減少していることから、『大空町児童遊園地設置条例』を改正し、平成23年3月31日をもって北一児童遊園地を廃止することになりました。

【基幹病院充実のために】基幹病院である女満別中央病院の医療供給体制確保のため、医療法人社団双心会と締結していた病院周辺の土地・建物の無償使用貸借契約について、契約期間が満了することから、再度契約することとされました。



(女満別中央病院)

質疑と答弁

小島議員

病院周辺で、今回無償貸付けしようとする部分以外の土地はどうなっているのか。

福祉課長

株式会社メリ力に対して別途無償貸付けしている部分と、病院長に売払いをした部分がある。

【社会福祉法人女満別福祉会へ町有財産を提供】

社会福祉法人女満別福祉会の運営する特別養護老人ホームが、一部町有地上に立地しているため町民に対する不可欠なサービスを提供する基幹的施設という観点から、町有地を無償譲渡することとされました。

質疑と答弁

小島議員

道路選定に伴う整備上出てきた問題と解釈している。工事の時点でそういう整備ができなかった理由は何か。

福祉課長

平成19年度に増築部分が完成し、平成20年から平成21年にかけて測量設計を実施し、平成21年1月に分筆が確定した。平成21年度・22年度は無償貸付けということで契約して、今まできている状況である。



(女満別特別養護老人ホーム)

【指定管理者を指定】

施設の名称等	東藻琴農村環境改善センター 東藻琴公民館
指定管理者の名称等	網走郡美幌町字青山北43番地8 フジケンビルサービス株式会社 代表取締役 島山 隆
指定の期間	平成23年4月1日から 平成26年3月31日まで

【人権擁護委員の推薦】



上村則子氏
(東藻琴西区)

平成23年3月31日で任期満了になるため、引き続き同氏を推薦することについて、適任であるとして了承しました。

【各会計予算の補正】

◆一般会計・歳入・歳出に2億7,857万円追加し、総額が88億1,676万円になりました。

◆開陽中央線道路整備事業交付金

一口メモ



※1 地域活性化・きめ細かな交付金

地域ニーズに応じたきめ細かな事業が実施できるように支援するため、平成22年度国の補正予算において創設するとされた交付金です。

【大空町の交付金充当事業（本定例会にて補正）】

- ◆農村環境改善センター多目的ホール改修工事（380万円）
- ◆町道維持補修工事（5,780万円）
- ◆女満別中学校グラウンド整備工事（400万円）
- ◆女満別中学校特別支援教室改修工事（200万円）
- ◆ゲートボールセンター屋上防水工事（570万円）

※2 地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金

上記※1同様、住民生活にとって大事でありながら、これまで光が十分に当てられてこなかった分野に対する地方の取組を支援するために創設された交付金です。

【大空町の交付金充当事業（本定例会にて補正）】

- ◆大空町図書館備品購入（図書：400万円及び移動図書館車1,365万円）

- ・開陽中央線道路整備事業債 1,400万円
- ・基幹病院医療環境等充実事業債 4,040万円
- ・地方交付税 1億939万円
- ・地域活性化・きめ細かな交付金（※1） 6,230万円
- ・地域活性化・住民生活に光を注ぐ交付金（※2） 1,559万円

- ・子宮頸がん等フクチン接種緊急促進臨時特別交付金 432万円
- ◆「歳入の主なもの」
- ・財政調整基金積立金 3,490万円
- ・住宅太陽光発電システム導入補助金 50万円
- ・生ごみ処理機購入補助金 22万円
- ・開陽中央線改良舗装工事 4,000万円
- ・子宮頸がん・ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン接種費用 1,048万円
- ・公共施設等整備基金積立金 4,149万円
- ・網走湖環境改善対策基金積立金 1,870万円
- ・学校教育施設建設基金積立金 3,000万円
- ◆国民健康保険事業特別会計・歳入・歳出に18万円追加し、総額が12億4,366万円になりました。
- ◆後期高齢者医療特別会計・歳入・歳出から19万円を減額し、総額が9,494万円になりました。

【要望意見書】

議会へ国に対する要望意見書提出の陳情があり、各機関へ提出することとしました。

- ①地域医療と国立病院の充実を求める要望意見書
- ②住民の安全・安心なくらしを支える交通運輸行政の充実を求める要望意見書

※意見書内容15ページに掲載。

【財政援助団体等監査報告】

補助金の交付を受けている社会福祉法人大空町社会福祉協議会・大空町高齢者就労センター及び町の担当部署である福祉課の監査結果について報告があり、内容について了承しました。

【例月出納検査報告】

監査委員より、平成22年9月～11月分までの町の現金出納状況などの検査結果について報告があり、内容について了承しました。

大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向や議事の日程のほか、議決結果や会議録なども随時更新のうえ掲載していますので、是非御覧ください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/>からアクセス

大空町議会ホームページ



平成22年4月27日撮影

● 町政を問う (一般質問4名) ●

●平成22年12月の第4回町議会定例会では、4名の議員から9項目の質問がありました。各議員の質問と理事者の答弁要旨をお知らせします。

※質疑は要約していますので、詳細等は両地区図書館に備え付けの「会議録」を御覧ください。



(庁舎ロビーのコーナー)

議員 6月、私が初めての議会で質問した友好姉妹都市コーナーを本庁舎正面に、町民皆さんに見てもらおうと、町長を初め職員皆さんが汗を流していただいたことに、まず御礼を申し上げます。

いなぎ市民祭に参加ということで、稲城市に足を踏み入れた。あいにくのどしゃ降りですが、アンテナショップほか稲城店横でタマネギやジャガイモなどを販売し、大変好評であった。農村青年部の方などお手伝いくださり、これが20年間友好姉妹都市としてやってきたあかしかと感じてきた。市域や人口の違いはあっても、見習う点はたくさんあるように思う。

環境問題について

中堀 君子 議員



女満別湖畔のヨシの対応は

議員 今回は、町民の方たちのささやかな疑問などを、町長を初め役場職員の皆さんへ聞いていただくものである。

まず、環境問題。ことし春早く、女満別湖畔のミスバシヨウが見ごろというラジオを聞いた札幌市の方が、女満別の友達を訪ねてミスバシヨウを見に行ったそうである。その女満別の方から「ヨシばかりでミスバシヨウが見えにくく、ヨシを刈り取ることはできないものか。」と質問を受けた。女満別湖畔は国定公園で、みだりに草の刈り取りな

どはできないと思うが、このことで担当課としてよい答えはあるか。

教育長

ヨシの密度が適度である場合、直射日光からミスバシヨウを保護し、生育を助けることがわかっている。ヨシの繁殖状況によっては、ミスバシヨウにとって有益ととらえる考え方もあることから、ミスバシヨウ保護という理由でヨシの刈り取り許可を国から得ることは、現状では大変難しいものと判断している。過去の実態調査のデータなどを参考にし、保全のための研究をしていきたい。

わかりやすい、納得のいくまちづくりを

議員

ヨシとミスバシヨウが、お互いに繁茂していくことは大切なのだということがわかった。町としても、植物保護の

観点から、町道から林道に変更して車の出入りを制限するなどの努力も見えており、町民のわかりやすい、納得いくまちづくりを望む。

町長

植物群落の状況を今後もおさへ、車でいくことがいかとうかを含めた、その見ていただく方法を確立させていきたい。

ウチダザリガニを初めとした外来種の有無は

議員

町内に流れる河川に、昨今話題のウチダザリガニを初めとした外来種がいるかどうか、調査はしているのか。

町長

網走川水系上流で生息が確認され、本町の地域にも生息している可能性があるかと推測しているが、現在、農水産業などへの被害報告はされていない。人為的放流禁止などの注意喚起や適正

子供たちと調査を

議員

大空町に絶対いない、ということはないと思う。子供たちと一緒に川遊びをしながら調査していくというのも、一つの手ではないか。

町長 地元の方の学習として、地域の方に関心を持ってもらうというやり方においては、大変有意義なことと考える。

教育長

学校とも相談しながら、取り組めるものを取り組んでいきたい。



(湖畔ミスバシヨウ群落)

町民参加で町おこしを

ホームイルミネーションで町おこしを

議員 札幌大通公園や函館港の大ツリー、北広島市など、役所が率先してホームイルミネーションを呼びかけ、バスツアーがくるなど経済効果が上がっていると聞いている。役場が手本を見せることで、町民への広がりが見えるのではないかと。

町長 職員から、役場でもイルミネーションをやらないう話も寄せられ、急ぎではあったが、消防前のトチノキに施しをした。町が取り

医療問題について

町としての出産・育児の手だては

議員 産婦人科医・小児科医が減少している。妊婦さんが赤ちゃんを産み育てる手だてを、町としてどう考えるか。

町長 町として、妊婦健診の助成や、緊急時に救急車で支援する妊婦の事前登録制度などを行っている。我が町だけで難しい面もあり、産婦人科や小児科の広域的な連携というものも位置づけ、皆

組むことで、町民皆さんの機運が少しでも高まればと思っている。

広がり期待

議員

小さな池に石つぶてを投げ、水の輪を広げてさざ波を起こす、そのことよって、きのうきよのイルミネーションの2倍、3倍と広がりをさせるのではと、期待を持って質問した。きれいなイルミネーションが輝いていたというように、他町村からも言われるようになっている。

町民のやさやかな夢に近づこう努力を

議員

妊婦ばかりでなく、何らかの病で通院している人も、等しく地元で診てもらえる総合病院があつたらなと思うのは、町民のやさやかな夢であり、その夢に近づこう努力するのが、町としてあるべき姿だと思う。大変なことではあるが、安全で安心なまちづくりをお願いしたい。

町長

町民の方々が安心して地域に住める、その基礎になる部分が、医療の確保ということになるのではないかと。高いハードルの部分も確かにあるが、目標を持ちながら努力していきたい。

子ども手当について



現状と課題は

議員

本町における子ども手当の支給対象者数、年齢階層、世帯数などの支給状況及び未申請の有無など、現状と課題を伺いたい。

町長

子ども手当は、子育てを未来への投資と考え、社会全体で応援するといったことを目標に設定された。

本町対象児童数は1,123人、世帯数は536世帯である。平成22年度の実質的な本町負担は、548万円になる予定。申請時に検討を要するような事案はなかった。3歳未満児の手当額7,

《参考：現行の子ども手当と、児童手当との比較》

区分	子ども手当	児童手当
受給者所得制限	なし	あり
対象児童等年齢	中学校修了まで	小学校修了まで
支給金額	一律 13,000円/人	●3歳未満児と第3子以降：10,000円/人 ●上記以外：5,000円/人
支給時期	6・10・2月の年3回	同 左

※齋藤議員の質問に対する町長答弁の内容です。詳細は、会議録を御覧ください。

齋藤 宏 司 議員

う3歳未満が妥当なのかどうか。

町長

第1回目支給後、アンケート調査を実施し、貯蓄・保険が一番多く41・6%、子供の衣料や食・雑貨で16・4%、学校外の教育費に16・3%というような結果がある。低学年・低年齢への対策があるので、もう少し年齢の高いところへ支出があればありがたい。

少子化に目を向けられるか

議員

子ども手当の一部を滞納に充当してもいいという方向に変わるようである。1、2万円の支給で少子化に目を向けられるのか。条例を掲げると、違った形の方策がでないか伺いたい。

手当額は妥当か

議員

3歳未満は7,000円上がった2万円ということだが、国の言

滞納などについて天引きができるような報道もあったが、具体的

に決まったわけではない。少子化対策を打つ中で子ども手当支給の判断になった。子育てに不安はないという気持ちで国民に宿ることが、少子化対策の解決ではないか。町として、乳幼児医療費助成拡大、保育年齢拡充なども行っている。所得制限など、本場に必要なら方々へいく体制にないなどの議論もあるようだが、法律で決まるため、そのことと違う条例を定めるのは難しい。



共通番号制度について

共通番号制度の対応と課題は

議員 住民基本台帳ネットワークを活用した共通番号制度を創設する方針がたてられているが、本町の対応と今後の課題を伺いたい。

町長 共通番号制度は、国民に番号を割り振り、個人所得を税務当局が把握しやすくする仕組みとされている。個人情報保護の統一的な管理による適正

な社会保障給付、事務効率化や国民負担の公平性を図る視点での議論や、自己情報記録へのアクセス確認、第三者機関の設置、目的外利用防止の具体的原則、関係法令の罰則強化などが最低でも必要ではないかとの議論もされているが、具体的な決定事項ではなく、国の動向を注視しながら、状況が変化し折に説明したい。

町内の空き店舗・空き家対策について

空き店舗・空き家対策の現状と課題は

議員 失業率や雇用状況など依然として厳しい情勢となっている中、本町現状の認識と、町外からの移住・定住希望を含めた利活用の対応や課題を伺いたい。

町長 空き家等情報登録制度を実施している。空き店舗対策にあつては、地域活性化を図ろうと、いろいろな役割がある中で進めている。

生活環境面のよさは理解いただいているように思うが、雇用の不安という部分で、若い世代の移住が実現できていない。姉妹都市・友好町との交流の中や企業訪問など、いろいろなところでPRしていきたい。

大空町に定住をサポートする会の活動は

議員 大空町に定住をサポートする会の目的・

内容・活動について伺いたい。

総務課参事 都市住民と本町民との交流・地域活性化を目的とし、移住促進の調査研究、移住対策の受け入れ体制づくり、関係機関との連携、事業企画・立案・実施が主な事業になっている。移住促進、都市住民との交流への協力や移住フェアへの参加など、大空町のよさをPRしていただいている。

雇用問題も考えて

議員 地方から来る方に、雇用はあるか必ず聞かれる。

雨竜町では、若者定住促進事業を行っている。定住自立圏構想もあり、そういった形でも協力しながら、雇用問題も考えていきたい。

町長 雇用の問題は、今の行政として弱い分野。産業振興・企業誘致の中などで雇用という、間

接的役割しか果たせていない。雇用までしっかりとできれば、移住しようという方はもつといるのではないか。「田舎で働き隊！」という事業があり、全国的に取り組んでいる町村があるので、参考にしながら今後考えたい。

**リフォーム事業の
前向きな検討を**

議員 空き店舗・空き家の助成があるが、実際借りても使いにくい。いろいろな町村でリフォーム事業を行っており、そういう点も前向きに考えていきたい。

町長 空き家登録制度の中で取得で最高20万円、リフォームをかけた場合はさらに20万円、あわせて40万円の助成制度がある。店舗については利益を上げることがあり、対象外としている。役場内部で、近隣町村でも制度化されているリフォーム支援が必要ではないか、といった議論がある。この制度との整合性を図りながら、今後考えたい。



(ボッシュ株式会社 女満別テクノカルセンター)

人口減少基調の現状で、選択居住という市町村が選ばれる時代。住宅・雇用、それらを支える多くの方々のサポートがあつて実現できるものと思う。役場として、全体的なコーディネートを果たせるよう努力したい。

お願い

議長宛の案内文書については、事前に公務等の日程調整が必要となりますので、必ず議会事務局まで「持参」が「郵送」でお届けをお願いします。

☎099-2392
大空町女満別西3条4丁目1番1号
大空町議会議長(大空町議会事務局)宛

送り先

TPP（環太平洋経済連携協定） 関連について

近藤 哲雄 議員



本町への影響と これまでの取組は

議員 TPPへの参加が決定された場合、我が町への予想される影響と、参加が検討されて以降どのような取組がされてきたか。

町長 TPP最大の特徴は関税の撤廃にあり、例外を設けない100%の自由貿易化と言われている。

関税を撤廃した場合、米・小麦・ビート・バレイシヨ・酪農品・肉用牛・豚の7品目は壊滅的打撃が予想されている。この7品目の大空町影響額は、農業産出影響額122億円、関連産業影響

額120億円、地域経済影響額202億円という試算となっている。町としての取組であるが、

◆10月29日：女満別町農業協同組合から議会議長宛て要望書提出

◆11月12日：札幌市市民ホールで開催された「TPP交渉の参加に反対する地域社会のあり方等『この国のかたち』を問う道民総決起大会」に、町内から私のほか8名が参加

◆11月25日：TPP交渉への不参加を求める「政府の包括的経済連携基本方針に関する要望意見書」案が、臨時議会で可決

◆11月27日：網走市民会館で開催された「TPP交渉への参加断固反対オホーツク総決起集会」に、私も参加し、

町内から約1000人が参加

◆12月1日：東京都で開催された全国町村長大会に参加。TPP交渉への参加に反対する特別議決を採択させていただいたところである。

交渉参加決定までにと のような対応が必要と 考えるか

議員 農業を基幹産業としている町としては、より広範囲の中でこの思いというものを共通し、確



認しておくことは必要なことで、実情を見た中でこの地域としてのあり方、思いというものをしっかりと中央に届けていく、そうしたことも重要なことではないかと思っている。ただ、こうした機会をチャンスととらえている

農業者もあり、より多くの方々がそうした認識を持つためには、交渉へ参加する前に検討していかなくてはいけない多くの問題、例えば制度改革や構造改善の部分、農村・農業整備事業といった部分など、しっかりと足腰を強くしておかなくては

いけないことがあるのではないか。このような準備不足という現状を考えたいとき、短い期間の中で結論を出せるような状況には決まらないうこと

を痛感するが、今後決定していくまでの期間、どのような対応が必要と考えているか。

町長 中央への要請は、これからも機会をとらえながら行っていきたい。国内でつくる食料は非常に大切で、その現場を

大切にしなければならず、そのために多くの方々の理解が必要と思っている。今回のこのTPPの問題を、より多くの方々に御議論いただき、方向性を見つけ出すきっかけにしなければならぬのではないか。

町の目指すべき農業の姿をつくるためには、地域担い手の確保、優良な農地の確保、基盤整備も必要になるかと思う。そのような議論をしっかりと

できる場所を考え、その中で御議論いただくことが、今、この地域の行政に突きつけられた役割かと感じており、そういった取組ができるよう、今後努力したい。

TPPと戸別所得補償 制度の関連は

議員 TPP問題の経過を見る中で、戸別所得補償制度が所得を補償するものになり得るか、大きな関心が持たれる部分かと思う。現時点で、TPPと戸別所得補償制度の関連を、どのようにとらえているか。

町長 国は、TPP交渉参加の場合、農業対策を十分講じて取り組むと発言しているが、戸別所得補償制度の中で対応が真つ先に思い浮かべられる。現在の戸別所得補償制度対象作物は、小麦・大豆・てん菜・でん原用バレイシヨ・ソバ・菜種と、今回影響が及ぶと思われる作物と比べても不十分で、関連づけるとするならば根本から見直しが必要と考えている。

関税完全撤廃の中で、外国の農産物が入ってくると、販売価格で太刀打ちできない農産物は壊滅的打撃を受ける。単に所得補償というだけでなく、国内産販売の対策がとられ、所得がしっかりと補償



参考：店舗、販売額等の推移

項目	①大空町の店舗と販売額 (H9・H14は、旧町村合算)			②あおぞらスタンプ会の 参加店舗とスタンプ売上		
	年度	平成9年度	平成14年度	平成19年度	平成4年度	平成21年度
店舗数		122店舗	87店舗	81店舗	68店舗	31店舗
販売額		230億 7,300万円	152億 4,000万円	147億 9,800万円	2,260万円	620万円

愛町購買運動に関する町長答弁の中で紹介された数値を図表化しました。
詳細は、会議録を御覧ください。

熱を持って助成し、その後の応援もしていただきたい。商人が悩み、苦しみながらの共同事業は、地域社会にとって大事なことだと、私は信じて疑わない次第である。

町長 地域で買い物をするれば地域にかえるという意味合いを持たせ、普及させていければと考える。スタンプ事業から一歩進め、町としてポイント発行することもいいの

ではないか。まちづくりの機運を盛り上げ、地域の消費活動につながればありがたい。

端末機助成の検討を

議員 町が加盟店になりポイントを発行すると理解していかと思うが、日本で初めての試みかと思う。600万円に落ちた売上げが1,000万円、1,500万円になる可能性がある。端末機の助成について検討をお願いしたい。

町長 端末機助成の関係は、新年度予算編成の中で担当から何がしかの提案がされるのではないかと。私の段階で内容を確認していくことになるかと思う。

民間ノウハウ採用する
広報活動の計画は

議員 「広報活動に民間のノウハウを採用して編集業務委託を検討し、今までの以上の確かな情報伝達の仕組みを目指す。」とあるが、どのような計画が進んでいるのか。

町長 行政の情報、

適切に伝わらないことが随所にあると感じている。多様なとらえ方で紙面をつくる視点に立ち、民間の方々の取材、表現方法などを取り入れられないか考えた。

行政新聞という
とらえ方を

議員 情報提供のあり

トマップ川の公園整備と
環境実験の提唱について

環境実験を提案

議員 環境保全のため、環境実験を提案したい。親水性を高め、水辺空間創設を進めることで水際植生の回復が活発になると考える。のり面勾配を緩め、水辺に近づきやすい川づくりが必要ではないか。

町長 本年、トマップ川親水事業計画策定委託業務を発注した。議員が指摘されるように、緩傾斜への改修や自然石の配置など工夫されている実態がある。町としての方法など、まだ定まってい

ない状況。親水を目指した公園として活用できるよう努力したい。

方が、どうしてもマンネリになってしまふ。広報活動を変え、新聞機能もあわせ行政新聞というようならえ方をしてはどうか。

町長 民間のノウハウで記事編集なども行っていたことが、バランスよく、タイムリーな視点での記事構成になるのではないか。

河川改修の推進方法は

議員 河川の水質浄化機能回復のため河床コンクリートを撤去し、河床を露出させて上下水流の循環をさせなければならぬと考える。河川改修及び推進方法の考えは、

町長 委託業務の中で、水質の測定なども行った。一部水質悪化傾向にあり、流入水などの影響もあるとの見方がされている。水質改善対策も進め、今

後、きちんとした整備ビジョンをつくりながら対応したい。

公園の全体像をどの
ように描いているか

議員 トマップ川公園の全体像を、町長はどのように描いているのか。

町長 環境学習や将来の自然環境を残すという基本的考え方をもち続け、町民皆さんが手づくりで参加できるような公園整備を目指したい。

女満別の象徴的な橋「
アルルのはね橋」を

議員 国道39号線と神社通りの両橋まで行かないと対岸に渡れず、観光の一助になるものとして、両岸を渡る橋をつくっていただきたい。黒澤明さんやゴッホの話もあり、全国どこにもない「アルルのはね橋」を建ててもらえないか。国道39号線から眺めるアルルのはね橋は、いいだろうと思うし、象徴的な橋を建てる

ことが、一番観光に寄与し、喜ばれることではないか。そうすれば、メルヘンの丘、朝日ヶ丘に続

く、いわゆる寺尾さんがかいたゴッホを訪ねる旅、これがまさしく「ゴッホの「カラスのいる麦畑」の光景で、それを具現化し、町の観光に役立てていただきたい。

町長 議員より、湖畔からトマップ川公園を含め、メルヘン公園、さらには朝日ヶ丘公園と「ゴッホに出逢える町」という提言書を寄せていただいた。話題性があり、両岸を結びつけることはユニークだと思うが、実際に渡るべき橋としての位置づけには、ハードルもあるのではないかと。どのような仕組みをつくるか、議員の御提案も含めながら再検証し、説明する機会もつくっていただきたい。



(役場2F「アルルのはね橋」複製画)

議会・委員会活動レポート

●議会では、総務文教厚生・産業建設常任委員会や議会運営委員会、議会広報編集特別委員会などが設置され、議会閉会中もそれぞれが所管する事案などについて、協議や活動等を行っています。※主な内容をお知らせします。

総務文教厚生常任委員会

- (1) 第10回委員会(12/20)
 - ①議会の議決に付すべき事件に関する条例制定について
 - ②新しいHAC経営体制の構築について
 - ③財産の無償貸付について
 - ④「(仮称)大空町自治会活動支援交付金」の概要について
 - ⑤公の施設の指定管理者の候補者選定結果について
- (2) 第11回委員会(12/20)
 - ①女満別地区公民館の地域集会所施設移行について
 - ②業種別の調定・収納状況について
 - ③町有地の神社用地への無償貸付の状況と今後の対応について
 - ④要望意見書について
 - ⑤第12回委員会(1/26)
 - ①大空町職員の給与に関する条例の改正について
 - ②要保護及び準要保護児童生徒就学援助要綱の改正について
 - ③大空町立学校施設の

開放に関する規則の改正について

- ④女満別高校町外通学者の住環境整備支援について
- ⑤女満別地区公民館の地域集会所施設移行に伴う関係条例等の改正について
- ⑥社会教育関係施設条例及び規則の改正について
- ⑦女満別地区公民館の地域集会所施設(町民会館)移行に係る関係条例等の改正について
- ⑧大空町自治会活動支援交付金交付要綱の制定について

産業建設常任委員会

- (1) 第9回委員会(11/19)
 - ①要望意見書について
- (2) 第10回委員会(12/1)
 - ①高温多雨等による農作物被害について
 - ②平成22年度除雪計画について
 - ③「まちづくり住民懇談会の活動経過」について
- (3) 第11回委員会(12/6)

①開陽中央線道路整備事業について



(東藻琴芝桜公園)

- (4) 第12回委員会(12/20)
 - ①芝桜公園整備について
 - ②道路認定変更について
 - ③要望意見書について

総務文教厚生・産業建設合同常任委員会

- (1) 第1回合同委員会(12/20)
 - ①緊急総合経済対策について
 - ②大空町任意予防接種実施事業について
- (2) 第2回合同委員会(1/26)
 - ①新しいHAC経営体制の構築について
 - ②総合計画のコーリン

- ③結果について
- ③大空町定住自立圏形成協定に係る事務の進捗状況について
- ④地磁気観測所の無人化について
- ⑤電気自動車社会実験について
- ⑥除排雪用地の取得について

議会だよりへの御意見・御要望を募集します!

『議会広報編集特別委員会』では、より読みやすく、親しみやすい広報誌を目指して、常に検討しながら作業にあたっています。



多くの住民の皆さんに御覧いただくため、また、住民の皆さんの声を多く取り入れるため「こういった内容を取り上げられないか?」「こういう紙面構成にしてみてもいい?」など、どのようなことでも構いません。皆さんの御意見・御要望をどんどんお寄せください。お待ちしております。

【お問い合わせ先】

〒099-2392 大空町女満別西3条4丁目1番1号 大空町役場内
大空町議会事務局 TEL:0152-74-2111(内線266)



(女高除雪ボランティアの様子)

臨時会の議案と質疑

●平成22年第4回臨時町議会は、移動議会として東漢琴総合支所大会議室にて11月25日の1日間の会期で開かれ、以下の案件が決まりました。
※詳細は、会議録を御覧ください。

【より衛生的な学校給食センターの備品を整備】
女満別小学校改築にあわせて、老朽化の進んだ学校給食センターをより衛生的な施設として整備することに伴い、冷蔵庫・冷凍庫・野菜切機など、必要な備品が導入されることになりました。



(新給食センターの様子)

【育児・介護と仕事との両立支援のために】
町職員の育児・介護と仕事との両立支援のため、『大空町職員の勤務時間、休暇等に関する条例』及び『大空町職員の育児休業等に関する条例』を改正することとされました。

【経済情勢悪化による厳しい民間情勢を反映】
公務員給与が民間給与を上回っているとして示された「人事院勧告」に準じ、職員給与等の引き下げなどを行うため『大空町特別職の給与に関する条例』『大空町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例』『大空町職員の給与に関する条例』を改正することとされました。

主な内容

- ①大空町特別職(町長・副町長)及び大空町教育委員会教育長の期末手当支給割合を、給料等月額の間4・15から5・95に減じる(△0・2)。
- ②40歳以上の職員給料表月額引下げ
- ③55歳を超える職員の給料支給額引き下げ
- ④一般職員の期末手当・勤労手当をあわせた支給割合を、給料等月額の間4・15から5・95に減じる(△0・2)など。

【各会計予算の補正】

- ◆一般会計：歳入・歳出に555万円追加し、総額が85億3,818万円になりました。
- 《歳入の主なもの》
先進的事業支援特別交付金(グループホーム防火設備関係) 525万円
- 《歳出の主なもの》
グループホームスプリングラー等設備整備事業補助金 783万円



職員手当等
△1,035万円

- ◆介護サービス事業助定特別会計：歳入・歳出から7万円減額し、総額が859万円になりました。
- ◆簡易水道事業特別会

計：歳入・歳出から25万円減額し、総額が4億5,807万円になりました。

- ◆下水道事業特別会計：歳入・歳出から20万円減額し、総額が3億8,423万円になりました。
- 【議員期末手当を削減】
議員期末手当について、人事院勧告に準じて形で支給割合を報酬月額の4・15から3・95に減じることとして、議員発議により『大空町議会議員の議員報酬及び費用弁償条例』の一部を改正することとしました。

今回の改正により、議員期末手当額は、総額で年間約48万円の減額になります(比較表を御参照願います)。

【要望意見書】

議会へ国に対する要望意見書提出の陳情があり、各機関へ提出することとしました。

- ①大幅増員と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める要望意見書
- ②政府の包括的経済連携基本方針に関する要望意見書(TPP関係)

③国土交通省「北海道局」の存続に関する要望意見書
※意見書内容15ページに掲載。

	報酬月額	改正後(3.95)A	改正前(4.15)B	差額(A-B)
議長	282,000	1,113,900	1,170,300	△56,400
副議長	229,000	904,550	950,350	△45,800
議運委員長	205,000	809,750	850,750	△41,000
総務文教厚生常任委員長	205,000	809,750	850,750	△41,000
産業建設常任委員長	205,000	809,750	850,750	△41,000
議員 7人分	184,000×7 =1,288,000	5,087,600	5,345,200	△257,600 (1人当たり△36,800)
議員 12人 計	2,414,000	9,535,300	10,018,100	△482,800

その他議会活動の状況等

【女満別小学校新校舎が完成】



(新校舎完成見学会の様子)

12月中旬に完成した女満別小学校新校舎の完成見学会が12月17日に、12月24日には旧校舎の「お別れ会」、1月19日には新校舎の「使い初め式」が行われました。

12月24・25の両日にはPTAの皆さんを中心に旧校舎から新校舎への引っ越し作業が実施され、議員も参加いたしました。

子供たちには、これまでお世話になった旧校舎に感謝しながら、新校舎でまた新たな気持ちで学び、のびのびと、健やかに成長してほしいと思います。

【平成23年消防出初式】

1月7日、女満別ゲートポールセンター横の公共駐車場で、8日には東藻琴総合支所庁舎前において、平成23年消防出初式が挙行されました。議員も参列し、消防団員の皆さんの訓練や分列行進などを見学しました。



【平成23年成人式】

1月9日、議事堂文化ホールで行われた平成23年成人式に議員も出席し、希望に満ちた98人の新成人皆さんの新たな門出を祝いました。



【網走東藻琴会】

2月11日、網走市において網走東藻琴会が開催され、本町にゆかりのある網走市在住の方々との懇親・意見交換などが行われました。

【友好町 熊本県氷川町議会 御一行研修来町】

2月14日、15日、友好町である熊本県氷川町議会議員・町長御一行が来町され、東藻琴高等学校、議会広報誌の発行、冬季の道東観光振興事業などの取組について研修されました。



(東藻琴高校の視察風景)

議場傍聴席側にテレビモニターを設置しました!

議場の構造上、傍聴席から議員席側が確認できない状況にあり、傍聴される町民の方々から、各議員の自席からの発言状況が確認できないとの御意見が、以前から寄せられていました。

このたび、議場傍聴席側にテレビモニターを設置し、議会中継の映像で議員自席からの発言状況が確認できるようになりました。

役場庁舎1階ロビー、東藻琴総合支所1階ロビー、ふれあいセンターフロックスロビーに設置されているテレビで、議会中継が御覧いただけます。議会中継は、議会をより身近に感じていただくことを目的に、直接傍聴ができない場合などのため、開かれた議会活動の一環として行っております。町民皆様の傍聴をお待ち申し上げます。



要 望 意 見 書

①大幅増員と夜勤改善で安全安心の医療・介護を求める要望意見書(11/25臨時会)

- 1 ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
- 2 医療、社会保障予算を先進国(OECD)並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
- 3 国民(患者・利用者)負担を減らし、安全安心な医療・介護を実現すること。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫 内閣総理大臣 菅 直人
総務大臣 片山 善博 財務大臣 野田 佳彦 厚生労働大臣 細川 律夫

②政府の包括的経済連携基本方針に関する要望意見書(11/25臨時会)

- 1 国際貿易交渉に当たっては、「多様な農業の共存」を基本理念として、農業・農村の多面的機能の発揮や食料安全保障の確保を図るなど、日本提案の実現を目指すというこれまでの基本方針を堅持し、TPP交渉の不参加を含め、食の安全の確保、食料自給率の向上、農業の多面的機能の発揮、国内農業・農村の振興を損なわないよう対応すること。
- 2 包括的経済連携協定においては、食料・農業・農村政策を重要な国家戦略として位置付けている食料・農業・農村基本計画の趣旨を踏まえ、米や小麦、でん粉、砂糖、牛肉、乳製品等の重要品目を関税撤廃の対象から除外し、適切な国境措置を確保すること。

(提出先) 内閣総理大臣 菅 直人 内閣官房長官 仙石 由人 外務大臣 前原 誠司
経済産業大臣 大島 章宏 農林水産大臣 鹿野 道彦

③国土交通省「北海道局」の存続に関する要望意見書(11/25臨時会)

- 1 国土交通省「北海道局」は、新たな役割として日本が21世紀における国際社会の中で抱える「安心・安全な食料の提供及び自給率の向上」や「地球温暖化に対応したCO₂の排出削減」等の国家的な課題解決に貢献していく役割を担っており、北海道総合開発計画のもと、これを推進する組織としての機能がますます重要となっている。
- 2 国土交通省「北海道局」については、明治の開拓使・北海道庁時代、さらには戦後の北海道開発庁時代以来、国の施策として推進してきた北海道開発の歴史的経緯と、これから新たに果たしていくべき役割を踏まえ「公共事業予算の一括計上権」「北海道特例の措置」そして「北海道局・北海道開発局の推進体制」という「北海道開発の枠組み」を堅持し、組織として存続していくことが必要不可欠である。
- 3 今、北海道局が廃止され、かつ「北海道開発の枠組み」が失われることになれば、その経済的打撃は計り知れないほど大きく、いまだ経済的な疲弊が大きい北海道が、この枠組みなしで景気回復を図り、経済的発展を遂げていくことは極めて困難である。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫 内閣総理大臣 菅 直人
国土交通大臣 馬淵 澄夫 内閣府特命担当大臣(行政刷新) 蓮 舫

④地域医療と国立病院の充実を求める要望意見書(12/21定例会)

- 1 国立病院を縮小・廃止、民営化することなく、充実強化を図ること。
- 2 国立病院を運営費交付金一律削減の対象から除外し、必要な予算を確保すること。
- 3 国立病院を総人件費一律削減の対象から除外し、医師・看護師をはじめとした必要な人員を確保すること。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫 内閣総理大臣 菅 直人
総務大臣 片山 善博 財務大臣 野田 佳彦 厚生労働大臣 細川 律夫

⑤住民の安全・安心なくらしを支える交通運輸行政の充実を求める要望意見書(12/21定例会)

- 1 住民の安全・安心な交通運輸を支える行政は、国が責任をもって直接実施すること。
- 2 住民のための交通運輸行政を確立するために、国の出先機関である地方運輸局を充実させること。
- 3 広大な北海道の交通・運輸行政を充実するために、運輸支局を拡充すること。

(提出先) 衆議院議長 横路 孝弘 参議院議長 西岡 武夫 内閣総理大臣 菅 直人
総務大臣 片山 善博 財務大臣 野田 佳彦

編集後記

昨年4月に2
回目の町議会議
員選挙があり、

18名から12名の議会構成となりました。
また、記録的な猛暑と大雨の影響で、農作物を中心に甚大な被害が出ました。

今、国民的な関心は、TPP(環太平洋経済連携協定)に参加すべきかどうかの問題です。経済界を中心に「国際的な自由化の流れに乗り遅れると、貿易立国、日本の将来は危ない。また、参加しなければ輸出産業が経済競争を失ってしまう。」との推進派のコメント。

しかしながら、北海道内、特に大空町は、農業が基幹産業です。もし、このTPPに参加すれば、大空町でも200億円以上のマイナスの影響が出ると試算されています。国レベルでも食料自給率が一番重要ですが、行政、議会、農協、関連機関等で大規模な反対運動をしています。私も、このTPPの参加には、断固反対します。

議会広報の作成に当たって、4人の委員と事務局とで切磋琢磨しながら、読みやすく、わかりやすく、町民の皆様方に広く親しまれるよう検討しています。今後とも議会広報誌を読み、意見や要望がありましたら、よろしくお願いたします。

議会広報編集特別委員会

委員 齋藤 宏司

議会 日誌

平成22年11月19日～平成23年2月21日

〔平成22年〕

- 11月19日 第9回議会運営委員会
第9回産業建設常任委員会
- 25日 平成22年第4回臨時会(移動議会)
第10回議会運営委員会
- 12月1日 第10回産業建設常任委員会
2日 第10回総務文教厚生常任委員会
3日 第5回若返り演芸会
6日 第11回産業建設常任委員会
第9回議員協議会
- 14日 第11回議会運営委員会
17日 女満別小学校新校舎視察
- 20日～21日 平成22年第4回定例会
20日 第11回総務文教厚生常任委員会
第12回産業建設常任委員会
- 21日 第12回議会広報編集特別委員会
24日 女満別小学校「旧校舎お別れ集会」

〔平成23年〕

- 1月7日 平成23年消防出初式(女満別消防団)
8日 平成23年消防出初式(東藻琴消防団)

9日 平成23年成人式

14日 第12回議会運営委員会

18日～19日 女満別空港路線関係航空会社要望活動
(東京都)

19日 女満別小学校新校舎使い初め式

26日 第12回総務文教厚生常任委員会

第13回産業建設常任委員会

第10回議員協議会

2月1日～2日 オホーツク町村議会議長会定期総会
(清里町)

8日 北網ブロック町議会議務局長会議(美幌町)
第13回議会広報編集特別委員会

9日～10日 産業建設常任委員会行政視察(旭川市)

11日 網走東藻琴会(網走市)

14日～15日 友好交流町熊本県氷川町議会御一行
視察来町

16日 第14回議会広報編集特別委員会

17日～18日 議会常任委員会行政視察調査報告会

21日 第15回議会広報編集特別委員会

議会の傍聴は お気軽に!

◆定例町議会は、年4回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて随時開かれますので、皆様もお気軽に傍聴においでください。

◆詳しくは、議会事務局へお問合せください。

●3月定例会は3月8日から
開かれる予定です。

らーめん 一心



女満別空港前店

大空町女満別中央201番地24
tel: 0152-75-6227

営業時間 11:00～20:00
定休日 年中無休

- らーめん…………… ¥650～
野菜らーめん…………… ¥900～
厚切り炙りチャーシュー… ¥1,000～
など

煮玉子サービス券

本券をらーめん一心女満別空港前店にお持ち
いただきますとラーメン1杯のご注文につき
煮玉子1つサービスさせていただきます。
他のクーポンサービス券との併用はできません。

一心 女満別空港前店
tel:0152-75-6227